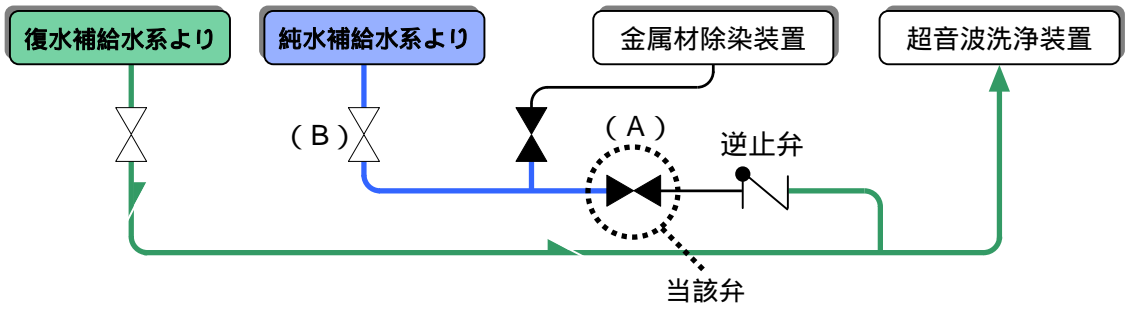
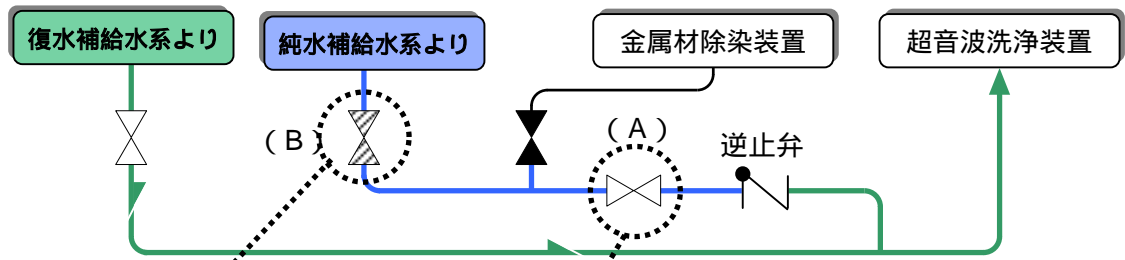


1. 7月28日 超音波洗浄作業前(通常状態)



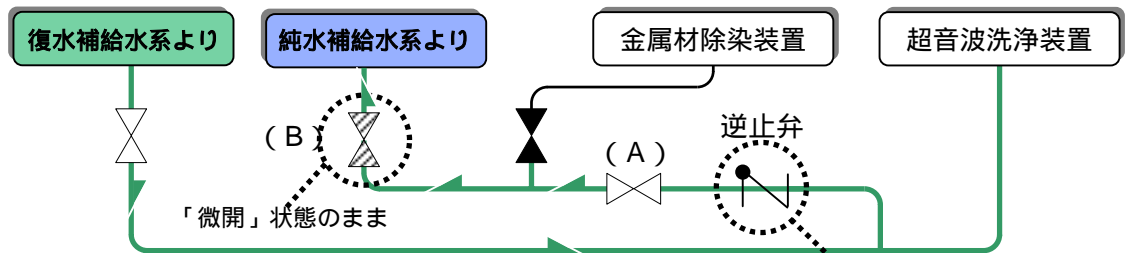
2. 7月28日 超音波洗浄作業後



作業終了後、当該弁(A)と誤って閉操作したものの、「微開」(全閉になっていない)であったものと推定。

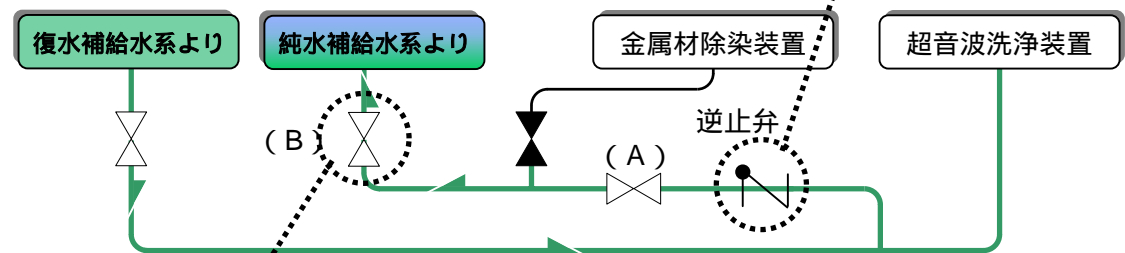
超音波洗浄作業時に開操作を行い、作業終了後、誤って隣接する弁(B)を開操作したため全開のままとなった(8月5日まで継続)。

3. 7月30日 復水系の圧力変動により逆止弁が開閉した際、弁座シート面の接触具合が変化し、シートリークが発生



復水系の圧力変動により一時的に開閉した際に弁座側のシート面の接触具合が変わってシートリークが発生し、復水補給水系から純水補給水系へと水が流入した。これにより純水補給水系の使用量積算計とその供給先の使用量との間に不整合が発生。

4. 7月31日 金属材除染作業実施後



金属材除染作業を行う作業員が閉まっていることに気づき、開操作したため、復水補給水系から純水補給水系への水の流入が増加。

⊠: 全開の弁 ⊡: 全閉の弁 ⊠⊡: 微開の弁 ⌒: 逆止弁(右方向にのみ水が流れる)
 →: 復水補給水系(トリチウムを含む) →: 純水補給水系(トリチウムは検出限界値未満)

復水補給水系の水が純水補給水系へ流入した推定原因メカニズム